資 料 ６－１

**令和６年度指定管理運営業務の評価方法・目標値設定について（案）**

**1．評価について**

　　第２回評価委員会では、原則として会議日の前々月の末日時点の評価を記載した評価票を用いて会議を行う。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価項目 | | 評価数値の考え方 |
| 人数・金額 | | 評価時点の実績数値を年間あたりに換算した数値 |
| イベント等 | 実施回数 | 評価時点で既に実施した事業数に、実施予定の事業数を加えた数値 |
| 参加者数 | 評価時点で既に実施した事業の参加者数に、各実施予定事業の定員に既実施事業の平均参加割合を掛けた数を加えた数値 |

**2．評価の決定方法について**

（１）各評価項目について

各評価基準を下記のとおりSABCの4段階で評価する。

|  |
| --- |
| S（優良）…求める水準を大きく上回り、素晴らしい貢献や優れた成果があった  A（良好）…求める水準を上回っている、または満たしている  B（ほぼ良好）…求める水準をほぼ満たしているが、一部改良してほしい点がある  C（要改善）…求める水準を満たしていない |

（２）評価項目に複数の評価基準があるものの評価の決定について

①（１）の評価をS（4点）A（3点）B（2点）C（1点）として点数化し、評価項目中の点数の平均値を算出する。

② ①で算出した平均値が【　4～3.5 …S / 3.4～2.5 …A / 2.4～1.5 …B / 1.4～1 …C 】

として評価項目の評価を決定する。

（３）評価基準に具体的な数値が設定されているものについて

　　①　目標値が設定されているものは、達成度に応じ下記のとおり点数をつける。

|  |
| --- |
| ４ …　達成度 ≧ 120％  ３ …　120％ ＞ 達成度 ≧ 100％  ２ …　100％ ＞ 達成度 ≧ 80％  １ …　80％ ＞ 達成度 |

②　参加者満足度調査は、実施状況と分析、分析結果のフィードバック状況について下記のとおり点数をつける。

|  |
| --- |
| ４ … 満足度調査を行い、その分析結果を適切にフィードバックしている。かつ、フィードバックした結果、その後の事業の参加者の増加や満足度調査の肯定的な回答の割合が明らかに増加する等の成果があった。  ３ … 満足度調査を行い、その分析結果を適切にフィードバックしている。  ２ … 満足度調査をしている。結果を分析している。  １ … 満足度調査を行っていない。満足度調査は行っているが、分析していない。  ※指定管理期間１年目は、今後のフィードバック実施予定があるかで評価し、S評価はなし。  ※評価委員会資料にフィードバック内容がわかるように記載し、必要に応じて資料（昨年度調査結果、フィードバックした内容\*）を添付。  （フィードバックした内容…「分析結果が○○だったため、××した」など） |

⇒①②による点数（複数項目ある場合は平均値）をもとに

【　4～3.5…S /3.4～2.5…A　/2.4～1.5…B　/1.4～1…C 　】として評価を決定する。

**３．目標値の設定について**

（１）考え方

・当初の指定管理者募集時の提案書等に記載している数値とする。

　【両館共通】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ① | 提案書等に数値があるもの | 提案書等に記載している数値を目標値とする。  ただし、前年度実績が目標値を上回っている項目は、前年度実績を目標値とする。  前年度実績が目標値を大きく下回っている項目は、平成30年度の来館者実績と令和５年度の実績値を比較し、提案書等の目標値にその比率を乗じて得た数値とする。 |
| ② | 提案書等に数値がないもの | 令和５年度実績を目標値とする。 |

※ただし、指定管理者の責めに帰すことができない事由については勘案し、目標値に反映することとする。

（２）令和６年度に関する具体的な目標値の設定方法

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが５類に移行したことを受け、令和３年度、４年度と設定していなかった目標値の設定を令和５年度に再開した。

令和5年度実績は、提案書等の目標値を上回っている項目がある一方で、今だコロナ禍前の数値まで回復していない項目もある。

令和５年度実績が提案書等の目標値を上回っている項目については、今までの目標値の設定方法である「提案書等の数値もしくは、過去5年実績のうち、最低数値と最高数値を除いた3年平均」とすれば、容易に達成されることが明らかであり、目標値として適切とは言えない。

よって、令和5年度実績が提案書等の目標値を上回っている項目は、令和5年度実績を令和6

　　年度の目標値とする。

一方で大きく下回っている項目は、休館や短縮開館等、コロナ禍の影響を受けなかった平成30年

度と令和５年度の来館者数の実績値を比較し、提案書等の目標値にその比率を乗じて得た数値と

することとする。（令和５年度来館者数は、平成30年度比率：87.5%（中之島）・80.5％（中央））

ただし、中之島図書館のガイドツアー等参加者数については、令和5年度実績が提案書等の数値を下回っているものの、比率を乗じると昨年度実績より下回り、目標値として適切ではないと考えられるため、令和5年度実績を令和6年度の目標値とすることとする。